

平成24年10月3日

平成24年度第3回いしのまき水辺の 緑のpromenade計画懇談会記録

いしのまき水辺の緑のpromenade計画
懇談会事務局（石巻市建設部河川港湾室）

平成 24 年度 第 3 回 いしのまき水辺の緑のpromenade計画

懇談会 記録

【会議概要】

開催日時： 平成 24 年 10 月 3 日（水）午前 10 時～

開催場所： 石巻市役所 4 F 庁議室

《懇談会出席者》

会長	石巻市長	亀山 紘
副会長	東北学院大学 経営学部 教授	斎藤 善之
委員	石巻専修大学 経営学科 特任教授	清水 義春
委員	石巻千石船の会 会長	邊見 清二
委員	母なる北上川を愛する女性の会 会長	毛利 スミ子
オブザーバー	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所 所長	佐藤 克英
	(代理)国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所	
		副所長 佐藤 伸吾
オブザーバー	宮城県東部地方振興事務所 所長	大内 仁
オブザーバー	宮城県東部土木事務所 所長	門 傳 淳
オブザーバー	宮城県石巻港湾事務所 所長	相澤 義光
事務局長	石巻市建設部 参事兼河川港湾室 室長	木村 博英
事務局員	石巻市建設部 河川港湾室 主査	千葉 教正
石巻市 建設部	部長	阿部 善弘
石巻市 建設部	次長	木村 伸
石巻市 建設部	河川港湾室 室長補佐	馬場 農利
石巻市 建設部	河川港湾室 主任主事	及川 英明

《議 題》

- (1) いしのまき水辺の緑のpromenade計画の見直し（案）
- (2) 旧北上川沿川のまちづくりについて
- (3) その他

第3回 いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会

【会議概要】

開催日時：平成24年10月3日(水)10時00分～12時00分

開催場所：石巻市役所 4F 庁議室

議事録

氏名	議事
事務局長	ただ今より平成24年度 第3回いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会を開会いたします。はじめに、本懇談会の会長であります、亀山市長よりご挨拶を申し上げます。
亀山会長	おはようございます。いしのまき水辺の緑のプロムナード計画 第3回懇談会にあたりましてご挨拶を申し上げます。第1回目の懇談会では、震災後の状況の変化を踏まえて、平成23年2月に策定したプロムナード計画の課題を整理し、計画の一部見直しに関して、皆様からご意見をいただきました。さらに第2回目の懇談会では、皆様からのご意見を集約し、計画見直しの概要について事務局からの素案を示し、検討を行いました。第3回になります本日は、懇談会としての見直し案の全体像が提示されます。今後これを基に、市民の皆様のご意見を聞き、策定に向けて必要な手続きを行っていきます。また、具体的な整備に向けた検討をしていくこととなりますが、防潮堤や河川堤防、公園、市街地整備など、復興に向けた街づくりに関する、各事業と一緒に、本プロムナード計画に基づく整備を具体的に行っていくかなくてはならないということです。堤防を活かしたまちづくり、石巻らしい水辺の創造と賑わいの創出に向けて、委員そしてオブザーバーの皆さんの活発なご議論をお願いいたします。本日もどうぞよろしく申し上げます。
事務局長	ありがとうございました。なお、本日ご出席の委員、オブザーバーのご紹介につきましては、配席図をお配りしてございますので省略させていただきます。ご了承お願いいたします。 それでは、議事に入ります前にお手元に配布いたしております資料の確認をさせていただきます。 (略) それでは議事に入っていただきますが、会議の進め方につきましては、本計画懇談会設置要綱第6条第1項の規定によりまして、会長が議長を務めるということになってございますので、会長である亀山市長をお願いしたいと思っております。よろしく申し上げます。
亀山議長	はい、それでは暫時の間、議長を務めさせていただきます。本日は、いしのまき水辺の緑のプロムナード計画の見直し（案）について、懇談会としてとりまとめ、続いて旧北上川沿川のまちづくりについて事務局より説明をいたします。そして意見

	<p>交換を行いたいと思います。早速それでは、議事に入りたいと思います。それでは</p> <p>(1) いしのまき水辺の緑のプロムナード計画の見直し(案)について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局長	<p>はい。事務局の木村でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>配布資料1・2についての説明 (略)</p> <p>説明は、以上でございます。</p>
亀山議長	<p>はい。ありがとうございます。それでは事務局から示されました、本計画の見直し案、それからサイン計画、避難の考え方について、ご質疑を進めてまいりたいと思いますが、まず、本計画見直し案についてご意見をいただきたいと思います。</p>
斎藤委員	<p>懇談会も第3回になりますが、今回ご説明を伺いまして、会を追う毎に、これまでの各委員の意見などを盛り込みながら、より具体的に詳細に煮詰められてきていると感じました。全体としてもよい計画になってきているのではないかと思います。特に震災というダメージを踏まえて、震災前に計画してきたことを活かしながら、どうしても新しく盛りこまなくてはいけない要素もあるので、それをうまく盛り込んできているのではないかと感じています。プロムナードは、お配りされている大きな地図のまちづくり計画が一方で進められてきていて、これまではっきりしなかった都市計画の新たな見直し案も出されてきているので、それと合わせて考えていくと、このプロムナードのほうは、こういった再開発されていく各地区を繋ぐ血管のようなものを整備していくということになるのかな、と。人の流れをうまく、特に水辺という大きな堤防によって遮断されているところに、どう誘導しながら、そこに楽しいにぎわいの空間を作っていくかという計画がますます求められているのだらうと感じています。そのなかで、今回の計画は非常によくまとまってきたのではないかと感じてきています。特に石巻駅から、中心市街地、再開発される商業地区を経て、川辺に出て、門脇地区あるいは中瀬に回遊できるようなルートが整備されるのはとてもいいことなのではないかと思います。</p> <p>今回の計画のなかで、具体化してもらっておりますけども私としてはもう少し強調しておきたい点があると思います。ひとつはやはり中瀬です。様々な計画が盛り込まれて具体化してきましたが、やはり歴史や文化、形としては公園という機能をまずベースに考えながらも、単なる芝生公園の広い空間だけではなく、石巻の歴史や文化を感じられるようなものも併せて、中瀬の空間の中にどこかそういう場所も作りこんで、設けていく。中瀬は今後とも、市民とともに、観光客にとっても、石巻に来れば非常に訪れてみたい場所となるはずですので、そこに石巻の歴史や文化を感じさせる施設も合わせて整備してやるということも重要だと思います。</p> <p>今後、さらに具体的にどういうものを整備していくのか考えていけたらと思います。その点に関しては、この堤防計画などで川辺の建物もたくさん取り壊されていく事になるかと思いますが、そういう中で、特に貴重な文化的なものを残すような手立ても少しは考えていかないと、何もかもなくしてしまっているのか。そういう意味</p>

	<p>では、中瀬にそういうものの一部を移築してあげることも今後の考え方のひとつにならないのかな、と思っています。これを今回のプロムナード計画に盛り込めるかは微妙かもしれませんが、案として。計画が具体化してきたのでそういうことが意識にのぼってきた感じがします。</p> <p>もうひとつはやはり、内海橋のプランが重要なのかなと思っています。今回のプロムナード計画でも内海橋がどのような形になるのか、車道オンリーになるのか、車道と歩道を合わせて一本の橋にするという計画がほぼ決まってきたと聞いておりますが、もしそうであると、やはり回遊性ということでは無理かなという感じがしてくるので、それとは別に、中瀬に渡るための歩道的な、趣のある橋、かつての内海橋の復元ではないですけども、歴史ある場所ですし、市民にとって内海橋というのはいろんな意味で愛着がありシンボリックな場所のひとつになっているので、それについては図面の中には書き込まれてはありますが、計画としてはまだはっきりしていない部分があるようですので、その辺を煮詰める必要があるのではと考えています。</p> <p>最後に、サインプロジェクトについては、前回申し上げましたが、今回具体的に書き込んでいただいているので、私としてはぜひ震災前の取り組みを活かしながら、さらに充実したものを作っていくことによって、プロムナード計画に最後、目玉を描き入れるような、命を吹き込むような意味を持っているのではないかと考えています。その点についても非常に期待をしています。私からは以上です。</p>
<p>邊見委員</p>	<p>斎藤先生と見解は一緒です。基本的に示された計画は、非常によくまとまってきたと思います。第1回目の時に話をしたと思いますが、今まで、運河とか、あるいは旧北上川右岸の石巻大橋上流側の利用はあったのですが、今回のプロムナード計画は、河口までの今まで手を付けられなかったところをどんな風に土地利用を含めて考えるのか、ということだと思います。河口の拠点 B や、中心市街地に近い拠点 C、中瀬、住吉公園を含めた拠点 D、それから拠点 F、川沿いの拠点となる場所がはじめて示されて、それぞれの中身のイメージ、これからの整備の指針のようなものができて、とりあえずはよかったと考えています。</p> <p>あとは個々の部分でなにを盛り込むのか。中瀬についても、フラットな公園でよいのか、もっとハードな整備ができるように島の整備をしてくれるのか。</p> <p>拠点 C は別として、拠点 D と拠点 F はそれぞれの広さやロケーションがあり、使い道、用途が決まってくると思います。もう少し具体的に、それぞれのゾーンの整備のあり方を議論してもよろしいのではないかと考えました。</p>
<p>清水委員</p>	<p>お2人の意見と同じで、計画がまとまって、非常に夢のあるプランで、素晴らしいと思っています。</p> <p>個々のことを申し上げますが、サイン計画は、この中で、どういうところにどういうサインを出すか。まだ案の段階だとは思いますが、旧北上川沿いのサインは結構ありますが、私がもっと必要だと思ったサインの中で、まちの中のサインをどうするかが問題であると思います。たとえば山形の長井というところでは、最上川と一</p>

	<p>体となったフットパスというものがありますが、まちの中と最上川とが融合したコース作りをして案内をされていて好評を得ている。プロムナード計画では旧北上川沿いが中心となりますが、まちの中、特に石巻駅を中心として、そことプロムナードとを結ぶルートというものを、これから考える必要があるのではないかと思います。確かに震災で失われたものもありますが、まちの中には、まだまだ歴史的なもの、宝が眠っている。それを市民の皆さんと一緒に掘り起こして、それをルートに入れていくというような形で、市民が作り上げるまちということを是非やっていただければと。そういう意味では、ルート作り、サインも具体的で非常にわかりやすいと思います。これをもう少し、例えばルートはどういう看板にするとか、説明はどうするとか、統一性をもってやれたら非常にいいという風に思います。</p> <p>それから拠点 B の公園ですけれども、この前、札幌のモエレ沼公園の説明をしましたが、62m の山があるという話をしました。そこにもうひとつ、30m の丘があります。ここの最大の特徴が、もともと最終処分場だったこの場所を埋め立てて、不燃ゴミを使って山を作ったということです。すばらしい景色です。つい 10 日ほど前ももう一度行って実際に話を聞いてきたのですが、防潮堤の延長線上、稜線をなだらかにして、ひとつの丘というイメージもあるのだなと思いながら見てきたのですけれども。丘というのは起伏がある、植栽なども考えると眺望の点でも良いし、避難ルートが日和山になっているが、むしろ避難場所としてもこの公園が機能することになっていけば非常にいいのではないかと感じました。</p> <p>それから中瀬。斎藤先生たちと考え方はまったく一緒です。歴史文化という話もあったが、やはり産業の集積がワンストップ的でないかということです。ここにいくとかまぼこの工場があったりして誰もが見ることができる。例えば、石巻地域の産業、産物、それをここで全部買い物ができるような施設も含めた、そういうものがあればいいなど。もうひとつは、震災前にも中瀬に行くのに観光客は大変だったのですね。駐車場がないのです。市内に停めて歩いてくださいというのは、1つの趣旨としていいことかもしれませんが、やはり駐車場という問題も確かに大きいのではないかと思います。とりあえずそんな感想です。</p>
毛利委員	<p>私もこの計画は、前の計画と同じように、震災後にプラスになった部分も含めてとてもよい計画かと思います。ただ、中瀬などの現状をみたときに、果たして中瀬の整備をどの程度までして下さるのかということが、今後これらの計画の基本になってくるのではと思っています。そのへんのことについて、もしお考えがわかればと思いますし、内海橋も本当に大切なところだと思っておりまして、中瀬の整備によって、内海橋のあり方もまた変わってくるのではないのでしょうか。</p> <p>それから、拠点 B の公園につきましては、前は、市立病院は無理にしても文化センターを避難場所として残してはどうかと思っていましたが、それは無くなったので、清水先生も言われた様に拠点 B にも避難場所的なものが必ず必要ではないかと思います。ここから日和山とか、プロムナード計画では避難のことがあります、それも踏まえた計画でないと計画倒れになりますので、せめてここに見晴らし台ができ</p>

	<p>るなど、何らかの確定的なものがほしいです。例えば公園に人がいっぱい来たときには避難する事は難しいのではないかと思います。</p> <p>それから、石巻にホテルが足りないということで、リバーサイドホテル的なものをまちの拠点Cあたり、又は湊側に誘致できるように話を持って行ってほしいなという願望があります。川が見えるホテル、カフェなどがあればいいなと思っています。運河沿いから拠点Bまで来られるルートができるのはとてもよいと思います。枯れていた松が伐採されて、通ったときにとても気持ちよくなって良かったと思っています。</p>
亀山議長	<p>ありがとうございました。今までのご意見の中で、何か事務局からコメント、回答できることがありましたらお願いします。</p>
事務局長	<p>今いただいたご意見の中で、まず中瀬につきましては、ただいま検討中です。プロムナード計画でも中核をなす大事な拠点であると認識をしておりますので、今後、ここの整備のことも一緒になって検討してまいりたいと考えています。</p> <p>サインにつきましては、先ほどまちなかにもサインが重要であろうというご意見がございました。今回、プロムナードの縁辺を、ということで案を書いておりますが、今後の具体化にあたっては、まちの中も含めての具体的な活動、設置、検討に入っていくものと考えておりますので、そこは随時必要に応じて検討して参りたいと考えております。</p> <p>中瀬、内海橋についても、現在検討中ということに変わりございませんが、後ほどの次の議題でございます、まちづくりの全体の中でも説明したいと思っておりますのでよろしくお願いたします。</p>
亀山議長	<p>ありがとうございます。それでは今、委員の方々からご意見をいただきましたが、この案の内容について、各ゾーン・拠点の中身の検討、駅とプロムナードを繋ぐルートの設置とかありますけれども、この計画の見直し案についてはどうでしょうか。事務局案のとおり認めて頂く、ということでもよろしいでしょうか。</p>
一同	<p>はい。</p>
亀山議長	<p>それではいしのみき水辺の緑のプロムナード計画 見直し案については、事務局案のとおり、懇談会の見直し案とさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>それで、今日出ましたように、これからの拠点、各ゾーンの中身の議論ということになりますが、これは復興計画との絡みもあるものですから、すぐに中身についてお示しするという事はまだできませんが、できるだけこの懇談会の中で中身については検討していきたいと思っておりますし、また、市民の意見もしっかり聞いていくということが必要となりますので、今後、いろいろな形で市民の意見を取り上げながら懇談会で検討して進めていきたいと思っております。</p> <p>私から、サインのことですが、私も非常にいいと思います。子供達の意見も取り上げていくのは非常に重要だと思っております。それから、単なる表示板だけでは、なかなか歴史・文化を伝えるのは難しいと思っております。ですから、例えばモバイル、要するに携帯電話や iPhone など、バナーにかざすと、いしびよん君が案内役として何か</p>

	<p>説明してくれるなど、そのような新しい取り組みがあってもいいのかなと思うのですが、どうでしょう。表示板にいっぱい書いてあってもなかなか見ないので、このまち、このルートはこんなものですよと最小限の表示にしてもらって、後はモバイルなどで、せっかくですから石巻のいしぴょん君を使って案内してもらえらるような、そういったことができたらいいなと思います。ぜひ事務局に検討していただきたいと思います。</p> <p>それでは次の議題の（２）ですね、旧北上川沿川のまちづくりについて、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局長	<p>それでは、事務局からご説明申し上げます。</p> <p>(略)</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
亀山議長	<p>ありがとうございます。この河口部のまちづくりについては、まだまだ、決まっていることではありませんので、今後大きく変わりうる可能性がありますので、あくまでも今は、検討中であるということにさせていただきたいと思います。</p> <p>それでは、各オブザーバーの方からちょっとコメントいただければと思います。最初に、オブザーバーのコメントをいただいてから、そのあと意見交換をさせていただきたいと思います。</p>
佐藤副所長	<p>北上川下流河川事務所の佐藤でございます。</p> <p>最初にコメントの前に、先週日曜日に石巻地方を台風が襲ったわけですが、情報提供という意味で、今回の台風により高潮が発生しました。門脇の観測所によりますと、速報値ですが、昨年の台風15号と同じくらいまで水位が上がっております。昨年の台風15号と若干気象的に違っていたのは、昨年の台風15号は総雨量的に、上流でかなり雨が降っていたので洪水と高潮が重なって、水位が上昇していました。今回は、上流で雨が昨年ほどは降っていません。ただし、河口部でそれくらいの水位になったということは、高潮による影響がかなり強く出たということです。そういったことで、いち早く石巻市が避難勧告を出された。石巻市の現状として、地盤沈下が著しく、川沿いだけではなく市街地のほうも地盤沈下していることを踏まえまして、早めの対応がよかったと思います。震災後も何度か避難勧告を出されていますけれども、それだけ浸水リスクが高まっていると思っております。そういった中で、私ども、本日配布された資料2のP.29の国土交通省の堤防計画ですが、今も紹介したように、河口部の市街地を守る堤防というもので今回計画するものがありますが、河口部は単に洪水だけでなく、先ほど申しましたとおり、津波、高潮といった災害も発生するので、それに見合った高さ、法面、敷幅、そういったものを基本形として示しています。それがP.29の左側にある絵です。地盤沈下した石巻の市街地を守るために、川から水が溢れないような堤防プラス、浸水リスクを解消するためには、町のなかに降った雨が、沈下しているので溜まりやすく、はけにくくなっているため、石巻市さんが計画している排水ポンプ場と排水機場をセットで早めに整備していきたいと考えております。</p>

	<p>そういったことで堤防の整備については、この断面は基本形ですが、本日示されたこのプロムナードの計画を受けて、私どもと石巻市さんのほうで仕上げの形の協議をしていかななくてはならないと考えています。堤防の方は、設計レベルで動いておりますので、早速、本日示されたプロムナード計画を具体的な方向で協議して、堤防整備と合わせて今後、堤防の仕上げの形を決めていきたいと思っています。なお堤防整備については、現在、国の方では、おおむね5年間を目処としておりますので、平成27年度を目標に整備の方を図りたい。浸水被害の解消を図っていきたいと考えております。</p>
<p>門傳所長</p>	<p>まずはプロムナード計画の方ですが、今まで計画があったものを見直したということで、だいぶ詰められて整理されていると思います。ただ計画は、それを事業にむすびつけていくのが一番難しいというか問題ですので、事業化と具体的な中身をきちんとフォローアップしていく必要がある。この計画の意図が十分反映されているのかどうか、利用促進協議会という形で行われるのか、この懇談会で行われるのか分かりませんが、市民参加型でオープンにその状況を評価して、それでもって働きかけていくという仕組みも作っていったほうがいいのかと考えております。</p> <p>それから、関心が高いのが内海橋かと思いますが、今、現況の下流側についている歩道の改修といいますか、整備を発注しまして、まもなく工事に入ります。遅くても年内中には、11月末には再設置をしていきます。それは、現況を残すということではなくて、新しい橋ができるまでの当面の対策として歩道は絶対必要ということで整備をします。災害復旧事業ということで今ここに示されていますように、国道398号をクランクではなく、直進する形で上流側に向けかえる方向で計画されつつありまして、あくまで現橋の付け替えということですので、基本的に現橋は撤去します。それに対して、中瀬への人や車、管理用車両をどうするか。仮に現橋を撤去したとしても、何らかの代替物は必要になるかなということで、市さんの整備によってそこに歩道橋をつける。それに加えて管理車両が入れるような構造にする、そんな形での検討が今、進められております。災害復旧事業ですので、まもなく結論を出さなくてはならない時期に来ていますので、そういった方向に計画がはっきりしていくと思います。</p> <p>今日配布された絵で、これは概略図ですので誤解があるといけません、上流側になっていますが、駅のほうから渡って、現在の道路と平面タッチするようなイメージの図になっていますが、新しい橋はだいぶ高くなりますので、平面タッチではなく、取り付け区間があって、今の現道は下をボックスにして取り付けるというイメージで考えています。これですと、道路のほうもかさ上げして、橋と平面交差のイメージがありますけれども、道路が下であって、上に行ってから取り付いて合流する、といったイメージになります。そのへん、誤解があると困りますので、あくまでこの道路は取り付けますが、こういう形ではないということです。考え方としては、こういう考え方ではあります。</p>
<p>大内所長</p>	<p>プロムナード計画については、すばらしい計画ができたと思います。</p>

	<p>計画とは別な話になると思いますが、現在、大震災に対する国内外の関心が高く、これからも続くと思います。震災について学びに来る方も多くなると思います。それに対しても、大震災の遺跡をどこへ残すのか。そういう来訪者に対する案内をどうするのか。それも含めながらプロムナード計画が実効性のあるものになっていくのかなという感想でございます。</p> <p>まちづくりの関係で、私どもの事務所と直接関係することが無いのですが、産業関係の仕事をしているので、やはり産業関係としてはまちづくりの観点から、時間をかけて合意形成しながらしっかりやっていくのが大切なのですが、一方で、企業にとっては取引の関係もあり、いつまでも進まない訳にはいかない。復旧と復興のスピード自体をあげていかないと企業さんにとっては難しい場面が多い。我々も石巻漁港背後の水産加工団地の嵩上げをやっておりますが、全体の合意形成は非常に重要です。将来を見据えながら、今の営業もやりながら合意形成をしっかりやっていく。湊地区についてもよろしくお願ひしたいと思います。</p>
相澤所長	<p>石巻港湾事務所といたしましては、プロムナードのベースとなる海岸整備や、河川の中の内港地区の整備を、急いでベースとなる施設を作り上げて、利活用していくという形に結び付くように努力したいと思います。プロムナードからは若干外れますが、地図の絵の中にある、客船寄港という大きな文字がありますが、先週、市長さん初め誘致協議会の努力の結果、日本船籍の豪華客船、「にっぽん丸」と「ぱしふいっくびいなす」号が、先週の月曜日と水曜日、立て続けに 2 船、入港しました。「ぱしふいっくびいなす」号では、500～600 人が船に乗っていらしますので、寄港して、観光に出向かれるのですけれども、皆さん、松島の方に出向かれたようです。早くプロムナードを整備して、中瀬なり B の拠点を作られると、そのような 500～600 人という大きな人数にきてもらっていますので、市内や文化歴史を非常に楽しんで頂けるのかなと考えています。早くそうなることを、我々としても努力、協力いたします。</p>
亀山議長	<p>ありがとうございます。いしのまき水辺の緑のプロムナード計画が進んで各拠点に観光客が訪れるように、なんとかがんばっていきたいと思います。</p> <p>オブザーバーの方々に補足説明をいただきました。それでは、各委員の方々にご意見いただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
毛利委員	<p>ただいまの説明で内海橋などの考え方はわかりました。もうひとつ聞きたかったのは、本当に今から高潮が高くなってくる可能性が世界規模でありますので、ここでも中瀬の嵩上げを本当にきちんとしてもらわないと、プロムナード計画の、産業にしても文化・歴史的遺産をここに置いて大変なことになってしまうのが、いまの現状をみていますと特に感じますし、石巻には、中瀬があつて、ということでこの計画を立てていると思いますので、その辺よろしくお願ひします。私自身、乱暴な意見かもしれませんが、この現状を 3.11 の現状としてそのまま残すのも一つの案と思っておりましたが、残さないのなら、きっちり整備してほしいと思います。</p>
亀山議長	<p>中瀬の活用ということで、石巻の歴史文化を構築し、伝えていくための拠点にでき</p>

	<p>ればと思います。確かに、あそこはあのままでは、今回の大震災でいかに地盤沈下したかがわかる場所ではありますが。私どもとしましては、なんとか早く整備していきたいと考えています。</p>
清水委員	<p>ひとつだけ。今、私どもは、防災研修に一生懸命取り組んでおります。観光とはちょっと違うのですが、奥尻島の地震から19年経ちますが、今、高校生の防災研修があちこちから島に来ています。今回の大震災の影響もあるかもしれません。この記憶をなくさないために、それなりの施設があって、防災研修を全国に発信していくことが非常に大事な要素ではないかと思っております。そういった意味で、南浜地区の公園もそうですが、3.11を忘れないような形のをぜひ残してほしいですし、それと同時に、避難を含めた防災研修を石巻市は身をもって体験したわけですので、全国に発信できるようにして、たくさんの人に見てもらいたい。そういうことも1つの考えに入れて、ぜひ進めていただきたいと思います。</p>
亀山議長	<p>高校生の防災研修は結構来ているのですか。</p>
清水委員	<p>石巻にも来ています。 奥尻で見たのは、ある時間に震災・地震があったということを想定して、実地体験させるのです。先生が一人いなくなる、生徒が一人いなくなる、それをみんなで探す。また、避難ルートを決めて、全員で、何組はどこまで避難しようとか、いろいろな実地体験をさせるようなことをやっています。そういうことを石巻でできれば、学校や通常の企業や団体を含めて、役立てていただけるのでは。</p>
亀山議長	<p>奥尻には学習センターのようなものがあるのですか。</p>
清水委員	<p>ありません。全部地元の人がやっています。</p>
亀山議長	<p>そうなのですか。はい、ありがとうございました。邊見さんどうですか。</p>
邊見委員	<p>北上川下流河川事務所の佐藤所長と県東部土木事務所の門傳所長にお尋ねしたいのですが、兩岸の立派な堤防の話は再三伺ってきたのですが、中瀬の護岸はこれからどうなるのか。どのくらいの高さで中瀬をイメージしたらいいのか。その辺の出来上がり方次第で土地利用のあり方が変わってくると思います。 また、住吉公園の前に小さい島と巻石があります、河川敷の中の国有地だと思いますが、あれを含め土地利用をどう考えるのか。石巻市が整備するのか、河川管理者が整備するのか。その辺がわからないので伺いたいです。 それから、門傳さんにお伺いしたかったのは、北北上運河の兩岸側の堤防は、今回の津波で越水しているのでしょうか。 それから、P.30の平面図の中で特に沈下のひどかった大街道新橋から明神橋にかけて、下流側、南側にかけての兩岸は現状がどうなっているのかと思って最近行って見ましたが、だいが松は枯れて、植栽はいいものも残っているので補植する形で整備してほしいと思っております。単純に盛土できるのかどうか、技術的なことを教えていただきたい。 また、中瀬から見て内海橋の話です。明日、旧北上川の兩岸の地域の住民対象に説明会があって、内海橋の架け替えの話も情報として提示されると聞いておりますが、</p>

	今現在で橋の構造や幅員など、お示しできる部分があれば、お聞かせいただきたいと思ひます。
門傳所長	<p>まず北上運河ですが、基本的には、運河から水が溢れたという形ではなくて、その脇に走っている水路の方から溢れたというふうに報告を受けています。ちょっとよくわからないところもあります。運河については、旧北上川の方と、定川の方の水門で津波を押さえるということで、高さはそちらの方で考慮されています。運河そのものは沈下した分を戻してやるというのが基本的な考えです。一部、定川に近いところで破堤したということを知っておりまして、そちらは復旧しますが。それから、今、沈下戻しといひましても、いわゆる断面を評価して、計画の水位に対して余裕高を加えて、高さが確保できているかをチェックして、確保できていないところは早急に対応しようということ、先日も地元にも代表の方に説明して回ったところ、中里地区などがありますが、どちらかという旧北上川に近いところですが、そちらのほうを早急に着手ということ、説明したのですけれども、ただ、入札が不調に終わりました、まだ業者が決められませんでしたので、まだ少し遅れることとなります。基本的には下がった分を戻してやるということです。ただ、そのときに護岸が下がっている、護岸はやる必要が出てきます。</p> <p>松の件は、4割ほど枯れているということですが、なかなかあの大きさのものを復元するのは難しいです。とりあえずは、枯れているものはカットして、危なくないようにする。植栽計画につきましては、県の中の運河 50km 全体に桜を植えるとか、そういった話もありますので、そういった動きを見ながら対応を考えていきたいと思ひます。</p> <p>それと内海橋につきましては、説明会は明日ですかね。先ほど申しましたとおり、基本的には上流側に付け替えをして、もともと考えていた T 字路で中瀬に下りていくというのは取り止めて。そうすると歩行者、管理用車両をどう確保するかとなれば、現況の付近の、少なくとも西の方をなんらかの形で整備する必要が出てくるのではないかと思ひています。これ以上は今の段階では申し上げられないのですが、そういうことで考えております。</p>
毛利委員	今、西が出てきましたが、東はないのですか。
門傳所長	少なくとも西側は必要であろうということであって。機能的に必要だろうということで、反対側をどうするというのはまた次のステップの話になります。
邊見委員	現在の内海橋は片側 1 車線です。新しい橋についても、機能は、架け替えということで、片側 1 車線の現状の幅員で、とお考えですか。
門傳所長	車線数は多分同じだと思ひますが、幅員は現況のまま、ということではなくて、構造令や機能上緩和したもので、規格をもクリアしたものになると思ひます。歩道の幅員とかですね。4 車線にするということは前後の関係もありますし、国道 398 号という位置付けでありますので、部分的に 4 車線化という意味合いはないのかなと考えている。ただ、幅員はきちんと考えていきたいと思ひています。
亀山議長	今度、県が伊達政宗が築いた運河の利用ということで整備を含めて進めていますね。

	新聞・報道で聞きましたが。どんなことを考えているのでしょうか。
門傳所長	<p>基本的には原型復旧ではなく、それらを活用した新たな整備と考えていいのではないかと思います。今回の津波被害を受けたわけですが、運河があったことによって大分軽減されたということがあります。越えて抑えられた、あるいは引き波の時に運河に沿って流れて部分的な壊れで済んだというような。</p> <p>あるいは南の方、亘理とかあっちの方もあわせて整備したほうがいいのではないかと思います。土の問題もありまして、運河を作ることによって土が出てきますので、それらを活用するなど、総合的な判断によって、あるいは運河そのものの歴史もありますので、そういったものは利活用していきたいという発想もある。いろいろ検討していこうというところで組織をつくって、どういった整備が可能なのかという議論を始めましょうということなのだと思います。</p>
亀山議長	ありがとうございます。
斎藤委員	やはり内海橋の話が気になります。イメージがだいぶ出てきたのですが、川の真ん中に T 字型になって中瀬の方に、ということですがけれども、それは車道というか、管理用道路というか、歩道オンリーになるのか、というイメージなのですか。
門傳所長	もともと車も渡さなくてはならないだろうということで、災害の査定上は上流側に架け替えて、そこから中瀬へと T 字路で取り付けましょう、という発想の計画だったのですが。
斎藤委員	そうすると、かなり高さがあるからきつい斜路になると、川の真ん中の T 字のところに信号がつくということになるのでしょうか？渋滞が発生しそうな構造だと思うのですが。
門傳所長	そうですね。一般車両まで中瀬に入れるという形だとすれば、信号機も必要だったとは思いますが。
斎藤委員	そうですね。川の真ん中の真上に信号がついて、そこで車が待っているという構造であれば、そこらへんをもう少し煮詰めていかないと。
門傳所長	本当にそういう形で行くとすれば、右折レーンも必要になってきますが、今の段階はそういった形はなくて、として考えていますので。
斎藤委員	そうすると新橋から中瀬に下りずに、改めて別に歩道が中心になった橋を計画されているのか。
邊見委員	旧橋を残してくれるのでしょうか。
斎藤委員	それは2つ橋を新設するのは難しいということだったので・・・
門傳所長	今の内海橋をそのままの一構造で、という形では難しいですが、歩道機能なり管理用の車両が入れるような新たな橋の設置もやはり必要でしょうね、というのが合意に達しつつあるというように捉えています。
斎藤委員	できればそちらの計画の方が、全体的な、観光客が歩くということを考えても、高い橋から上がって下りていくというのはイメージ的にもどうなのかな、という気がしないでもなくて、そのへんは、プロムナード計画とも関わってくるポイントなの

	<p>で、もうちょっと議論が必要なのかなとは思いますが。基本的にはプロムナード計画が今回承認されましたし、いい結果が出たのではないかと考えております。</p>
<p>邊見委員</p>	<p>事務局に尋ねたいのですが、中瀬の南側に東西の橋が絵面では出ています。あれは高盛土道路でしたけども。下流側、河口に近いところで東西に横切るような新しい橋があたかもかかるように書いてあるのですが、具体性がある話なのでしょうか？</p>
<p>亀山議長</p>	<p>これはですね、要するにこの橋を架けることによって、橋を利用する車の台数がどれくらいになるかとかですね、そういった精査をしていかななくてはならないのですね。ですから、今の時点で、橋をここに付けます、というのは言えない状況にあります。</p> <p>南浜地区の第二線堤としての位置づけはありますので、堤防までのところの、矢本流留線の高盛土道路はありますが、橋についてはまだはっきりしたことはいえません。</p>
<p>邊見委員</p>	<p>中瀬も同じ考えでいいですか。</p>
<p>亀山議長</p>	<p>中瀬の方は、今、内海橋がかなり危険な状態であります。陥没もしていますので、大潮になると、かなり橋げたの隙まで水が来る状態になっていますので、そういう意味では、このまま車道として利用していくのは危険性があるのではないかという判断はしております。ですから架け替えも必要だと認識しております。あとは国道398号ですので、架け替えを進めていくようになるのではないかと思います。</p> <p>今回の河川管理の立場から言って、中瀬というものの、防災の観点からの位置づけはなかなか難しいものがあるかと思いますが、どのように考えたらよろしいでしょうか。</p>
<p>佐藤副所長</p>	<p>先ほどの邊見委員へのご質問に答える形にもなりますが、中瀬は、震災前はある程度、標高があり、なかなか浸水するという事はなかったのですが、おそらく今回の震災で60～70cmは沈下していると思われます。そういった中で、河川管理という立場からしますと、今日配布された資料の中にも将来的には公園を整備するという構想が出されていますけれども、冠水する公園というものはそう計画はしないと想定しておりますので、ある程度、盛土など、そういったことは必要があると思っております。</p> <p>邊見委員が詳しいですが、これまでの最大の高潮が大正2年に発生しているのですが、そのときの写真や記録を見ますと、建っている建物などは高潮ですっかり流されています。当然、震災前の中瀬の標高で高潮の被害にあっている記録が残っておりますので、やはり、ある程度の盛土はせざるを得ないと考えております。</p> <p>ではそこに通常の河川堤防というものを考えるかということにつきましては、どれくらいの盛土で冠水頻度がどのくらいになるかをある程度見越して協議したいと考えておりますが、あまり中瀬に堤防があるというのも、見かけ上いかなものかと思っております。あんまり中瀬を盛土してしまっても、洪水時、川に洪水が流れる面積も減らしてしまうことになるので、そのへんの調整は必要かと思っております。</p> <p>もうひとつは護岸ということで、震災で、中瀬の萬画館の周りに散策路っぽく作っ</p>

	<p>ていた護岸があるのですけれども、萬画館の整備と合わせて私どもで整備させていただきました。これも沈下して被災を受けております。これについては、私どもの方でここの公園計画と合わせて、どういった高さ、あるいはどういった公園の利用の仕方、また震災前の通りでよいのか、それとももう少し工夫した方がよいのか、お互いプランの調整をしながら護岸については進めていきたいと思っております。</p> <p>邊見委員のお話にありました住吉公園ですが、堤防のプランを考えていくと、住吉公園の前を歩いていく。市の復興計画の中では、中瀬の公園と一緒に住吉公園を考えていくことになるので、堤防計画もそれにあわせてプランと一緒に考えていくということになります。堤防はどうしても高さが要るものです。高さが要るということは幅も必要になりますので、そういった堤防計画と公園の絵柄を具体的にどうやっていくか、調整を具体的に始めているところです。</p> <p>雄島につきましても、イベントでも使われているということですし、歴史的な経緯もあるので、これは残すというような方向で検討を進めていきたいと思っております。</p>
亀山議長	<p>そうですか。巻石はどうなるのですか。</p>
佐藤副所長	<p>堤防という観点から考えますと、住吉神社のところはどうしても堤防のルート上になるので、神社そのものが何かしらの形で高くなるのか、堤防の上に乗っかるのか、いくつかプランを考えています。巻石につきましても、そこからみえる神社と巻石、あのへんの景観は一体のものだと思いますので、同じような考え方で残していくという方向で具体的な絵を描きたい。</p>
亀山議長	<p>巻石はぜひ残していただきたいです。あの邊見さん、巻石は少し動いているのですか。なんとなく見えにくくなったような気がするのですが。位置が動いているのですか。</p>
邊見委員	<p>位置は動いていないです。いわゆる露出度が昔とは変わって、ちょっとしか出なくなりました。</p>
亀山議長	<p>その他に色々と、まだご意見があるかと思っておりますけれども、後でも結構ですので、事務局にご意見お寄せいただきたいと思っております。(2)の「旧北上川沿川のまちづくり」については終わらせていただきます。次に、「(3) その他」についてですが、委員の方、オブザーバーの皆様、何かありましたらお願いいたします。</p>
毛利委員	<p>結果的に、計画を立てて実現に向けて努力して頂きたいということと、先ほども言ったように、堤防についても私たちの意見を踏まえて計画をされていることは、うれしく思います。実現に向けて、予算をいっぱい頑張っていただきたいと思っております。</p>
亀山議長	<p>そうですね。予算、財政的な支援がなければ事業は進めませんので、その辺は、県の皆様をお願いしていきたいと思っております。市も、しっかりがんばっていきますので。そのほか、事務局からは何かありますか。</p>
事務局長	<p>本日、委員の皆様、オブザーバーの皆様よりご承認頂きました、今回の計画の見直し案、ということで、当懇談会の見直し案として承認して頂きましてありがとうございます。今後、見直し案ということで所定の手続きを経まして、現在の計画と</p>

	<p>同様に、市に対しての提言ということで最終的にはいただくことになるかと思いません。そういった手続き、市民の皆様に向けての説明など、手続きに入らせていただきますので、よろしくお願いいたします。またもう一方では平行して、具体の整備に向けた協議・調整もしながら、努力してまいりたいと考えております。次の懇談会につきましては、機会を見ましてまた委員の皆様にはお声がけさせていただきたいと思えます。現時点ではいつ何をということは今、決めかねておりますが、また具体的にご相談申し上げたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>亀山議長</p>	<p>それでは、今後の懇談会の進め方については、何かご意見ございますか。</p> <p>サインについては、子供の方々など意見を聞く機会を設けていくということなのですが、できるだけ色々な、高校生、中学生も含めて川を中心としたまちづくりについて、参加していただいてご意見をいただく機会をぜひ作っていただきたいと思えます。できれば、委員の皆様にもご案内を出して、出て頂いて意見交換する、というのが大切だと思えます。</p> <p>それではよろしいでしょうか。時間も参りましたので、以上で第3回懇談会の議事を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>事務局長</p>	<p>ありがとうございました。これを持ちまして第3回いしのまき水辺の緑のプロムナード計画懇談会を終了いたします。委員、オブザーバーの皆様、大変ありがとうございました。</p> <p>(閉会)</p>